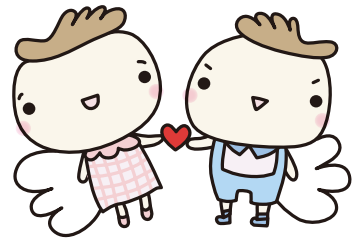


てとて



表紙 ベストショット最優秀作品 北村節子さん

『大好きパパ』

パパは大変だけど、子どもたちの笑顔に癒されています



特集

こんな時だからこそ必要な『つながり』

～新型コロナウイルス感染症拡大で見た大切なこと～

連載

福祉の仕事の魅力とは？

こんな時だからこそ必要な『つながり』

新型コロナウイルス感染症拡大で見えた大切なこと

サロンに代わる訪問活動

藤川自治会

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校措置や外出自粛要請により、交流・つながりが持ちにくい状況に陥りました。地域の方々からは、「誰とも話すことがなく寂しい」「ずっと一人できて不安になる」「子どもたちが家にばかりいるのは心配」といった声が聞かれ、日頃福祉活動に取り組む方々からは「改めてつながりがあることの大切さを感じた」「今だからこそ、やらなければいけないことがあるのではないか」といったお声もいただきました。

今回は、そのような中で、人と人とのつながりを途絶えさせないよう、感染拡大防止を踏まえ、工夫しながら展開された各地域の取り組みとその思いをご紹介します。

サロンが開催できず、

その他の交流の機会も持ちにくい状況から、普段サロンに参加しない人を含めた訪問活動を実施されました。そこにあつた思いは「孤立させない、こんな時だからこそ訪問が必要」。



子どもから高齢者まで

集いの場を

小田自治会

臨時休校となった状況を受け、「子どもを地域で見守る必要がある」との思いから開設されたピンポンハウス。取組を展開する中で「つながりを保つ必要があるのは子どもだけではない」との気づきから、誰もが気楽に集まって楽しく体を動かすことができる居場所づくりへと発展されました。



移動販売受入れで交流の機会づくり

本郷自治会

「高齢者サロンの代わりに」と思い始められた活動ですが、始めてみるとサロンに来られない方や、高齢者以外の住民も含めた出会う場となり、高齢者にとどまらない、近隣でのつながりについて改めて考える機会となったそうです。



特別定額給付金

(全国民への10万円給付)申請支援

杉澤自治会

「申請のお手伝いが必要なのではないか」「お手伝いが見守り・つながりの機会になる」との思いから、必要書類のコピーを始めとした申請支援に取り組まれました。



配食弁当を通して

つながりづくり

三吉自治会

集う場

が開催できないうち、こんな時だからこそつながりが必要」との思いから、高齢者サロンスタッフと子ども食堂スタッフが協力し、高齢者や子どもへ見守りを兼ねたお弁当の手渡しを行われました。



“休校期間中の子ども・家庭応援室”

「おひるまLiaison」

安心できる居場所づくり

NPO法人Take-Liaison

コロナで臨時休校中、一人ですごさなければならぬ子どもや、仕事と家庭と育児で疲弊されているご家族が、ストレスなく安心して毎日を送れるように居場所を開設されました。

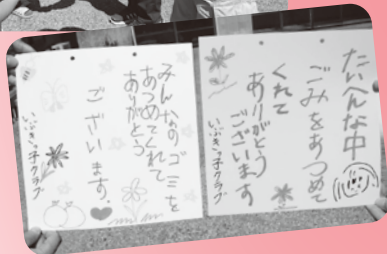


自治会ゴミ集積所への

プレートの設置

学童いぶきっ子クラブ

感染の不安がある中でも、家庭ごみを日々回収されている業者さんに「感謝の気持ちを伝えたい！」との思いで、子どもたちと一緒にプレートを作成されました。自治会と協力し、気持ちを形にすることで今だからこそ大切にしたいつながりを深められています。



まとめ

皆さんいかがでしたか。感染をしない・させない活動方法の見直しを行う一方で、普段サロンに来ていない方も訪問対象とするなど、つながっていない住民、孤立している住民がいるのではないかと改めて考える機会にもなりました。

市内では高齢者を対象とした活動が比較的多く展開されていますが、高齢者以外にも地域にはまだまだ孤独を感じ、孤立されている方もおられます。

地域それぞれにある『良さ』を活かしながら、孤立させない、つながりのある、共に生きる地域づくりを進める必要があると考えます。米原市社会福祉協議会は皆さんとともにまちづくりを進めていきます。

連載

福祉の仕事の魅力とは？

今回も市内の福祉事業所で働く方のインタビューをお届けします。やりがいや魅力にあふれた福祉の仕事。そんな仕事に皆さんも就いてみませんか。



【福祉の仕事をしていてのやりがい】
子どもたちの成長を間近で見ることができるとは魅力だと思います。昨日までできなかったことが今日ではできるようになったり、歯が生え変わりでよく抜けたりと、子どもの成長に立ち会えます。また、保護者と毎日顔を合わせてお話しさせてもらっていると、保護者が一生懸命子どもを育てておられる姿に出会うことができます。子どもたちの成長と一緒に喜び合うことができるのはうれしいですね。

放課後に小学生の預かりを行う放課後児童クラブで主任として勤務。主に、子どもたちの見守りや、保護者との連絡調整を日々の仕事としています。

NPO法人 きづな まいはらっ子クラブ 北川 真美子さん



【あなたも福祉の仕事に！】
子どもたちの成長に立ち会えるというのは素晴らしいことです。たくさん的人生初に出会えます。私自身、学童で働いていなかったら、大声をあげて笑うこともなかったと思うほど毎日笑いは絶えません。学童の仕事は、職員自身が子どもたちから刺激を受け、成長できる仕事だと思います。

【コロナ禍で感じた思い】

小学校休校中は職員の体制が整わず苦労しました。一方で、休校となっても、子どもたち、親御さんたちの暮らしは続いています。誰かが支えなくてはなりません。学童は子どもたちが密集して遊ぶ機会が多く、感染リスクが高いので、消毒の徹底だけでなく職員自身の体調管理には特に気を付けました。加えて、子どもたちにはウイルスから自分の命を守る方法を伝えていきます。保護者から、職員を労う温かい言葉をかけていただくこともありました。

今後、子どもたちが集団になるイベントは中止しなければならず、どのように子どもたちが楽しめる場を作るか思案しています。



コロナ禍で中止をしていますが、まいはらっ子では6年前から彦根にあるミシガン州立日本センターと連携して、留学生との交流を行ってきました。また、夏休みにはプールや流しそうめん、夏祭り等子どもたちが楽しめる活動を開催してきました。

イベントや取り組みなど、職員からの発案は「やってみよう」と取り組める職場です。



詳しい記事は社協ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください
URL <http://maibara-shakyo.or.jp/>

ヘルパーステーション山東伊吹 澤 逸子さん
 ヘルパーステーション米原近江 田中 幸子さん

訪問介護員としてパートタイムでの勤務。高齢者や障がいのある住民の方々のお宅を訪問し、利用者にあわせて入浴のお手伝いや買物、調理、掃除などを行ったり、一緒に外へお出かけしたりしています。

【福祉の仕事をしていてのやりがい】

利用者から「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時や何気ない声かけで笑顔になられた時にやりがいを感じます。また、利用者の生活が豊かになるためにヘルパー同士で日々情報交換を行い、うまく関わりを持つことができたら時にこの仕事をしていて良かったなと達成感を感じます。



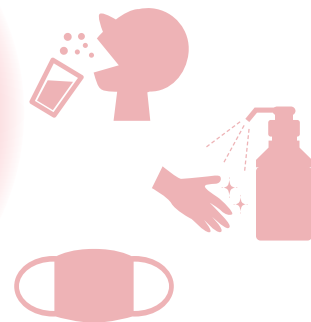
【あなたも福祉の仕事に！】

いろいろな方のいろいろな人生に関わらせてもらえ、人の生き方が学べる仕事です。自分の気持ちに素直に一生懸命していると、誰もが気持ちを理解してくれてその気持ちに伝えてくれます。その時に、「この仕事をしていて良かったなあ」と感じます。人と人との関わりを大切にしたい方にはとてもオススメな仕事です。



【コロナ禍で感じた思い】

感染症に対する不安を抱えると同時に、「私たちが暮らしを支えている」「命を預かっている」との使命感から手洗い・うがいを始め、利用者ごとにマスク・エプロン・靴下等の着替え、車の中の消毒も徹底し、感染症を持ち込まない・感染させないという思いで仕事にあたりました。



ヘルパーステーションでは職員同士のチームワークが抜群です。何かあっても気軽に相談し合えたり、助け合えたりできる関係で、居心地の良い職場があるからこそ、ヘルパーみんなが安心して働くことができます。ヘルパーの仕事に興味がある方は、ぜひ一緒に働いてみませんか？

介護職員初任者研修受講生募集!!

- 研修期間 令和2年11月初旬～令和3年2月下旬
- 受講料 39,500円（テキスト代及び実習費・消費税含む）
- 実施場所 特別養護老人ホームわが家ひだまり地域交流室
（滋賀県米原市本郷603-1）
- 定員 15名
- 申込期間 令和2年10月頃を予定
- 主催／特定非営利活動法人ひだまり（お問い合わせ先）
住所／〒521-0212 滋賀県米原市本郷603-1
☎ /0749-55-3131（担当：今井）



令和元年度 事業報告

令和元年度より、米原市では『第2次まいばら福祉のまちづくり計画』が新たに動き出し、地域共生社会の実現に向け、計画に示された各主体の役割と各主体間の連携・協働を具体的に実践することとなりました。地域共生社会の実現に向け、国において進められた検討の内容を踏まえ、『第2次まいばら福祉のまちづくり計画』で示された本会の役割を果たすべく、各種の事業に取り組みました。

I 顔の見えるつながりを深める

小地域福祉活動やボランティア活動、市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の様々な福祉活動についての情報を多様なメディアを通じて市民に届け、福祉理解や福祉活動への参加意識を高める活動等に取り組みました。

- 社協広報「てとて」の発行
- 社会福祉大会の開催
- 出前講座の開催
- 福祉体験学習の受入れ など

II 暮らしを守る活動を広げる

包括的支援体制構築事業や生活困窮者に対する自立相談支援等を通じて、複合化した地域生活課題に対し、相談機関等が分野を超えて連絡調整を行い、解決に向け協働する体制づくりを進めました。

また、介護保険事業や障がい福祉サービスの実施にあたっては、サービスを利用される方が持つ能力を活かし、住み慣れた地域で自らが望む暮らしが継続できるよう、多職種・専門職との連携のほか、各事業所が周辺地域との関係を築く中で、地域の様々な社会資源とつながりながらご利用者お一人おひとりの状態に応じた専門的な支援を行いました。

さらに、各地域で、住民による見守り活動や生活支援の取り組みが推進されるよう、推進組織の組織化や具体的な活動に対する活動支援を行いました。

- 相談支援窓口の運営
- 包括的支援体制構築事業の実施
- 生活困窮者自立支援事業の実施
- 地域福祉権利擁護事業・法人後見事業の実施
- 各種介護保険・障がい福祉サービスの提供
- ご近助活動（自治会単位）の推進 など



包括的支援体制構築事業における
専門職での研修風景

III 助け合い、支え合う人を育む

地域の支援ニーズを把握し、必要な事業を企画するとともに、ボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行いました。

また、地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成のほか、質の高い介護人材の確保をめざし、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組みました。

- ボランティアセンターの運営
- 各種ボランティア養成講座の開催
- 福祉現場での実習の受入れ など



音訳ボランティア養成講座

Ⅳ みんながつながるまちをつくる

小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談事業や各種福祉サービスを実施する中で、地域の課題や暮らしの困りごと、地域の社会資源を把握するとともに、必要に応じ調査を行い、分析・整理した結果を地域カルテにまとめ、自治会や関係機関、活動者等と共有・活用する仕組みをつくりました。

「支援する側・支援される側」という関係を固定化せず、誰もが社会の一員として自分らしく活躍できるまちづくりをめざして、コミュニティソーシャルワーカーや地域支え合いセンターの実践を通じ、様々な立場の人々が地域福祉活動へ参加するための環境整備に努めました。生活支援に関する講座を開催し、地域の活動者の育成を行うほか、自治会に限らず、市域や日常生活圏域での交流や意見交換の実施、市内事業者・法人間の連携を図るための様々な協議の場を設けるなど、地域の支援体制がより強化され重層的なものとなるよう取り組みました。

- 地域カルテの作成と活用
- 地域支え合いセンター事業の実施
- 社会福祉法人のネットワークの構築（地域貢献の推進） など



事業推進プロジェクト
地域生活応援事業

V 推進体制の充実・強化

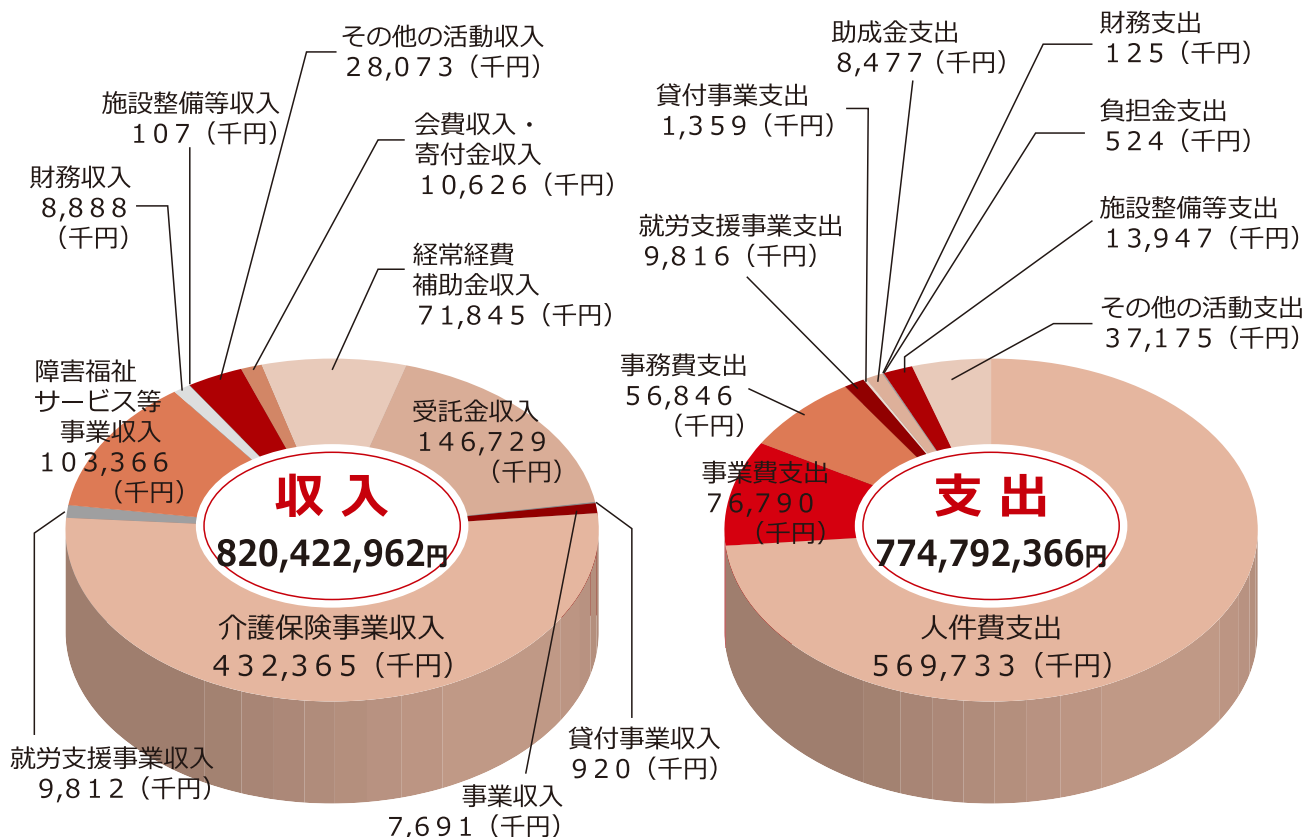
法人内の各部門（部署）を横断する事業推進プロジェクトを実施し、各種の事業を通じ集約した地域の様々な課題を共有するとともに、課題に対応する取り組みを企画し実施しました。併せて、本会が、社会的に求められる役割をしっかりと果たすために、介護保険事業等の経営の健全化を図るほか、人事考課制度の導入に向けた整備をはじめとした、職員の働きがいを支える環境づくりなど、組織と推進体制の強化に取り組みました。

また、事業収益を活用した地域貢献活動として、地域生活応援事業等に取り組みました。

- 法人内連携の促進・事業推進プロジェクトの推進
- 評価制度の確立・処遇制度の充実 など

令和
元
年度

社会福祉法人米原市社会福祉協議会決算報告



※ホームページに財務諸表、事業報告書を掲載しておりますので、併せてご覧ください。



共同募金運動が始まります！

運動期間 10月1日～12月31日



みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

募金活動の様子



寄せられた募金が米原市の地域福祉を支えています。



～交流・情報交換の場の提供～
遊びの広場



～ボランティア活動の支援～
高齢者の方への配食サービス



～福祉教育の実施～
インスタントシニア体験

※上記の写真は共同募金の助成を受け活動されている内容の一部を紹介しています。



令和2年7月豪雨災害義援金受付中

令和2年7月の大雨により、各地で人的被害をはじめ家屋の損壊、浸水等大きな被害が発生しました。この災害で被災された方々を支援するため、皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会

- 山東地域福祉活動センター 旧山東生涯学習センター内（志賀谷1907番地） ☎ 0749-55-3933
- 伊吹地域福祉センター 愛らんど内（春照56番地） ☎ 0749-58-1770
- 米原地域福祉センター ゆめホール内（三吉570番地） ☎ 0749-54-3105
- 近江地域福祉センター やすらぎハウス内（顔戸21番地2） ☎ 0749-52-4393

—上記センターにて受け付けしております—

相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

※山東センターは土曜日閉館です。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）。

〈問合せ〉米原市 暮らし支援課（山東庁舎） ☎ 55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
9月 8日(火)	ルッチプラザ(長岡1050-1)	11月10日(火)	ルッチプラザ(長岡1050-1)
9月29日(火)	やすらぎハウス(顔戸21-2)	11月25日(水)	近江公民館(顔戸1513)
10月13日(火)	げんきステーション(下多良3丁目)	12月 8日(火)	ゆめホール(三吉570)
10月27日(火)	愛らんど(春照56)	12月22日(火)	愛らんど(春照56)

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
9月24日(木)	愛らんど(春照56)	11月26日(木)	ルッチプラザ(長岡1050-1)
10月22日(木)	やすらぎハウス(顔戸21-2)	12月24日(木)	ゆめホール(三吉570)

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 暮らし支援課（山東庁舎） ☎ 55-8110

※各相談については、状況により中止になる場合があります。

善意銀行だより

令和2年5月15日～令和2年7月31日
(敬称略)

〔金銭預託〕

中川タマエ	30,000円
扶桑工業株式会社	200,000円
匿名	30,000円
匿名	10,000円
匿名	50,000円

〔物品預託〕

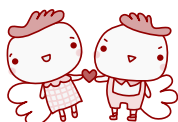
米原市シルバー人材センター	手作りマスク
フルナック株式会社	フェイスシールド
真野 修	おはぎ
澤 正子	手作りマスク
山形和美	お菓子
三菱ケミカル株式会社 滋賀事業所	フェイスシールド
おおはら農園	どろんこばたけ
	新たまねぎ、じゃがいも
匿名	手作りマスク
上多良漁業協同組合	小鮎
若狭公子	白ネギ
匿名	米
横田恵津子	ブロック、ぬいぐるみ
	布団(子ども用)、紙袋
岩崎文松	米
株式会社又サの場商店	杖
島崎峰子	手作りマスク
山東赤十字奉仕団	手作りマスク
三吉自治会館	古切手



扶桑工業株式会社 三菱ケミカル株式会社
滋賀事業所

※他季節のお野菜や果物をたくさんいただき、ありがとうございました。
※市内福祉事業所にもお渡ししております。

地域のみなさま、ご協力ありがとうございました。



米原市社会福祉協議会

普通会費 8,252,000円

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

日本赤十字社



活動資金 5,009,600円

国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人々を救うために行う幅広い支援活動に役立てられます。

(令和2年7月31日現在)

米原市のボランティア情報をお届けします♪

まいボラ

ボランティア
始めてくださいました♡



「雨が続いてなかなか来られなかったんや。いつ来てくれてもええて言うってくれたけど、私の中では何も用事が無い限り、月・水・金で決めてるんや。緊張って外に出ることも大事やで!! ぼちぼちやりますわ」と微笑む堀江さん。
♡いつもめいじがひびいてます♡



愛らんど草むしりボランティア

堀江さん



「定年を迎え、地域で何かできるボランティアはないかな?と近所の人に相談したら、ボランティアセンターを紹介してもらったんや。」と堀江さん。

「裁縫とか細かい作業は苦手やけど、力には自信があるで!!草むしりはできる!!」という力強い声を受け、堀江さんの希望をひまえながら活動先の調整を進めました。

免許証を返納され、堀江さんの移動手段は徒歩か電動自転車。自宅から通える範囲での活動先を数カ所紹介させてもらったところ、愛らんどでの草むしりをしてくださるようになりました。

活動日は事前に決めず、その日の天気や体調と相談し活動をされています。

草むしりの合間にお話を聞いてみました。

「雨が続いてなかなか来られなかったんや。いつ来てくれてもええて言うってくれたけど、私の中では何も用事が無い限り、月・水・金で決めてるんや。緊張って外に出ることも大事やで!! ぼちぼちやりますわ」と微笑む堀江さん。

将棋ボランティア

伊部良孝さん



「誰か将棋の相手をしてくねませんか?」との相談がボランティアセンターに寄せられました。

そこで以前も将棋相手のボランティアをしてくださった伊部さんに相談したところ、「自分にできることであればさせてもらいます」と、快諾いただき、ボランティア職員でお顔合わせをセッティングさせていただきました。

すべに意気投合され早速一局・・・となり、活動がスタートしました。

お天気が良いと伊部さんは、愛車の電動車いすで活動場所まで移動をされています。

対局が始まるとお二人とも真剣な表情に。一息つくと言談を交えたお話をされ、何とも和やかな雰囲気です。

「誰かに頼られることは嬉しいこと。お相手が嫌がられて『もう伊部さんはいいわ』と、言われるまで続けていきたい。」と伊部さん。

これからもよろしくお願いします!!



「コロナ禍の中、何かできることは無いかな?と、自分ができるところならなさせてもらおうかな?」

と、新たにボランティア活動を始めてくださった方がおられます。ボランティアの合言葉「無難な仕事」「無難な相手」「無難な相手」で「できる範囲で」「活動を継続していただければと思います。」

何かはじめてみたいという方はボランティアセンターまでご相談ください。

音訳ボランティア視察研修のお知らせ

日時：令和2年9月24日（木）10時～12時

場所：滋賀県立視覚障害者センター（彦根市松原1丁目12-17）

☆現地集合となります

内容：見学（相談・歩行や日常生活動作の訓練・点字や録音図書の製作）を通し、視覚障がいについての理解を深めるとともに音訳活動の概要を学びます。

音訳ボランティア養成講座（入門編）のお知らせ

日時：10月6日・13日・20日・27日・11月10日・17日

（全て火曜日）10時～12時

場所：米原地域福祉センターゆめホール 研修室（米原市三吉570番地）

内容：音訳とは何か。発声・発音の仕方や文章を読む等基礎からお伝えします。初心者の方向けの講座です。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程の変更または中止をする場合があります。ご了承ください。

問合せ・申込先：米原市ボランティアセンター



米原市おもちゃ病院「つばさ」開院!!

昨年より開院準備・修理の練習を積み、ついに開院となりました。

おもちゃの修理を通じて、物を大切に作る気持ちを子どもたちに伝えていくことはもちろん、地域の大人たちとの交流の機会にしてみたいという思いで活動をしています。

診療時間：毎月第1土曜日 9時～12時（今月は9月5日です）

場所：柏原中学校コミュニティルーム（清滝40-1）※正面左手角の部屋

※診察できないもの：電子機器やTVゲーム等。詳しくはお問合せください。

問合せ先：米原市ボランティアセンター

※開院日当日の連絡先は☎080-8537-2427（代表中川）まで



こちらのページの記事に関するお問い合わせは…

米原市社会福祉協議会 ボランティアセンター

住所：米原市三吉570番地

☎：0749-54-3100 FAX：0749-54-3115

✉：sasaesai@maibara-shakyo.or.jp



ベストショット

たくさんのご応募
ありがとうございました！

本会内で選考させていただきました結果、次の皆様の入賞が決定いたしました。おめでとうございます！

最優秀作品 北村 節子さん
優秀作品 郷 芽衣子さん・堀澤美希さん
藤田 大さん

優秀作品についてはこちらのコーナーで順次掲載いたします。

なお今回ご応募いただきました作品は11月29日（日）に予定しております米原市地域共生フォーラム内で展示させていただきます。どうぞお楽しみに！

優秀作品



郷芽衣子さん「夏満喫」
大好きな川遊びで、やんちゃやっています！

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介します

大きくな〜れ



今月のイベント情報

米原市ファミリー・サポート・センター サポーター養成講座と交流会のご案内

サポーター養成講座

子育てなんて久しぶり…の方も安心してサポート活動をしていただくためのお話です。

内容：子どもの世話・安全と事故（ヒヤリハット）

日時：9月9日（水）9時から12時

会場：米原地域福祉センターゆめホール

交流会&サポーター養成講座

楽しいイベントを通して、ファミサポについてもっと知ってもらうため交流会を実施します。

内容：稲刈り体験を通じた交流会に引き続き、サポーター養成講座として子どもの食生活についてお話を伺います。

日時：10月3日（土）9時から13時

会場：有限会社親和農場（米原市世継1167番地）

<お申込み先> 米原市ファミリー・サポート・センター

☎ 54-3100 FAX 54-3115

✉ sasaesai@maibara-shakyo.or.jp

*新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、日程の変更または中止をする場合があります。ご了承ください。

遊びの広場訪問

お子さんがのびのびと遊んでいただけるお部屋の開放をしています。ぜひ遊びにきてくださいね！



親子ふれあい広場



近江地域福祉センター
やすらぎハウス
毎週月曜日10時~16時

おもちゃであそぼ「ポッポ」



米原地域福祉センター
ゆめホール
毎月第2水曜日10時~12時

こちらを
チェックしてから
来所してくだ
さい

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3105 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

山東地域福祉活動センター

米原市志賀谷1907番地 旧山東生涯学習センター内
☎ 55-3933 FAX 55-3933 ✉ m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
☎ 58-1770 FAX 58-2231 ✉ m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3110 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
☎ 52-4393 FAX 52-8051 ✉ m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

文字が読みにくい等でお困りの方に毎号、「音の広報」として「広報ととて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。
（「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。）



7と7

66号

9月号

【発行】
社会福祉法人
米原市社会福祉協議会

この広報は一部赤い羽根共同募金の
配分金で発行しています。

